



僕を訪ねて事務所に来られお客様が「坂さんのデスクはどこでしょう？」とスタッフに質問。するとそのスタッフが「カップラーメンが山積みになっているのが坂の机です」と解答。それを聞いて若干恥ずかしかった3児の父、坂です。その後も会話は続きスタッフ「社会人としてどうなんでしょうね。」お客様「わんぱくって感じていいんじゃないですか」二人「わはははは！」ここで僕が話に割って入り会話は終了。カップラーメンの置き場を真剣に考えないといけませんね(笑)。よくスタッフや知り合いに「栄養バランスを考えないと体に悪いよ」とよく声をかけられるのですが僕なりに気がつかっているつもりです。以前も書きましたがひとつはカップメン1日1個の原則。もうひとつはラーメン、うどん、焼きそばをバランスよく。カップ焼きそばって結構、野菜が入っている気がするのですが…。こんな事言っていると、また笑われてしまいますね。

○ 坂 拓磨
○ 35歳3児の父！

まだ新入社員？ 坂(バン)が昼ごはんにつわる
エピソードを綴る 昼だけバンメシ！のコーナー



復活！



わかったら答えを書いてハガキで応募！クイズのコーナー！



先月号のクイズは「上は魚、下は動物の植物はなーんだ？」でした。今回もこのクイズを読んだドリーマーのスタッフが「私あまり魚を食べないからなあ。こうみえて肉食系なの。フフフ。」とつぶやきながら意味深な笑みを浮かべ昼食へと出かけていきました(笑)。いつになったらクイズをちゃんと解いてくれるのでしょうか？(笑)そんなことはさておき、先月号の答えは「あじさい」が正解でした。応募者・正解者共に最多となりました。ありがとうございます。正解者の中から四万十市具同のU様、山路のS様、間崎のK様、の3名様に500年以上、播磨地方で受け継がれる伝統の味「揖保の糸 特級品」プレゼント！おめでとうございます。ではここで今月号のクイズです。「勤め始めたと思ったら、すぐクビになってしまう虫はなんーだ？」答えがわかった方は郵便番号787-0009 住所 四万十市佐岡446 ドリーマー中村葬祭館かわら版7月号プレゼント係までご応募ください。正解者の中から3名様に南国フルーツのおいしさを凝縮。飲むフルーツ酢セットをプレゼント！今回もヒントをお教えしますね。自分の力で問題を解きたい方は読まないでくださいよ。ヒント1は「クビを言い換えると」ヒント2は「桑の葉が大好物」です。答えが解ったらドンドコご応募ください。私も飲んでみたいと思いきスーパーで探したのですが売ってなく、代わりにオレンジジュースを買った横山奈歩がお届け致しました！



湿度が高い日が続きますね。朝、館内を掃除していても汗が吹き出てタオルが手放せません。お客様のお宅へ訪問する頃にはワイシャツも汗で濡れてしまい家に着替えるに帰ったことも、しばしば。これから迎える夏本番が思いやられます。私が汗っかきなものは、夏の暑さだけが原因ではなく性格にも一因が。元来、じっとしているのが苦手。出来る事はすぐやっておきたい性格。人の何倍も動いているので、その分汗も。もう性格は直せそうにないの、こまめに水分補給をして熱中症にならないように気をつけたいです(笑)。

あとがきにかえて



○佐竹 健作
○空手三段のお掃除好き



～ 会館だより ～

今年梅雨が来ないのでは？と思わせた先月の今頃。うってかわって7月になると各地で豪雨による浸水や土砂崩れが起こった事を伝えるニュースを目にする機会が増えました。台風を想像させる暴風雨が四万十市でも、ときより発生し自動車を運転していると、ワイパーを最大にしても前が見えない場面に出くわします。こんな時は無理をせず車をはじめに止め、雨が弱まるのを待つよう心掛けています。そんな中、会館では太陽が顔出す日を待ち構えています。お客様が少しでも快適に過ごせるようお布団を干したいからです。



高野 香

毎月20日に
新聞折込
しています!!



ドリーマー中村葬祭館
これを知って!!のコーナー

日頃から
感謝したい
ですね



○山本 良一
○ 53歳
○ビール大好き！

雨が続きジメジメした日が多い梅雨時。蒸し暑いからといって冷房をつけてしまったら、この先ずっと使ってしまうので躊躇してしまいます。ですが室内でも熱中症になると何かの記事で読んだので冷房を入れようとする「家計にひびくから」と妻にリモコンを取り上げられてしまいました。だったら冷たいビールを飲んで内から体内を冷やそうと冷蔵庫に手を伸ばすと、うしろから妻が「お酒ばっか飲まないで麦茶を飲みなさい」とまた怒られてしまいました。ここで抵抗して文句を言うと思わぬ何倍にもなって返ってくるのでグッとこらえ、その日は寝床につきました。一人だったら好き勝手にできるのに。暑くて中々寝付けず、ぼーっとする頭で思ったのでした。それからしばらく経って思いがけず望んでいた日がやってきました。子どもの習い事の大会で泊りがけで妻と子が出かけ私一人、家に残される羽目に。いつも騒がしく会話が飛び交う空間が電化製品のモーター音が聞こえるくらいの静けさ。テレビを見ていても何も内容が入ってこず、今まで感じた事のない寂しさに包まれました。居なくなっちはじめて存在の大きさを知りました。家族だからそれが当たり前といった考えではなく普段から感謝の気持ちを持ちたいですね。扇風機が生暖かい風を送り続ける中、冷蔵庫にはよく冷えた麦茶のボトル。私はそっとそれをよけ、「妻よゴメン」と心でつぶやき、よく冷えたビールに手を伸ばしたのでした(笑)。

重要です！

1.もしもの時、あわてない為に事前にできる事

葬儀会社に事前相談をして見積をとる事をオススメします。料金はもちろんですが、会館や担当者の雰囲気を感じる絶好の機会ですから、疑問点があれば、なんでも質問してみましょう。私、山本は丁寧な敬語は苦手ですが幡多弁を駆使して一生懸命ご説明します。親しみやすい人柄だとよく言って頂けるので安心してご相談ください。葬儀会社を比較して選択しておく。とても重要なポイントです。

2.いざ、その時がきてしまったら・・・

①.ドリーマーに電話(24時間対応しています) ⇒ ②.担当者との打ち合わせ(ご要望をお聞かせください) ⇒ ③.担当者が見積を作成(わかりやすく、ご説明します) ここがポイント！

この段階で大体の葬儀代金がでます。ここで予算が合わないようでしたら、再度ご希望に合うようご提案させていただきます。ですから予定のご予算でお葬儀をして頂けます。安心して私達ドリーマーをお選びください。ドリーマーは互助会の会社ですので事前に入会して頂ければ割引等会員様特典がございます！まずはご相談を！

